

プラズマ・核融合学会誌

第97巻第10号

2021年10月

解 説	分子動力学法を用いた生体高分子のトリチウム誘起壊変シミュレーションと 精度評価のための実験系の構築	中村 浩 章, 藤 原 進, 波多野雄治	561
小 特 集	イオン源の数値シミュレーション技術の進展と応用		
	1. はじめに	柴 田 崇 統, 吉 田 雅 史	568
	2. イオン源プラズマの原子・分子過程	柴 田 崇 統, 澤 田 圭 司	572
	3. ドライバ領域におけるモデリング	星 野 一 生	577
	4. プラズマとイオン源壁面との相互作用	和 田 元, 剣 持 貴 弘	581
	5. 引出領域プラズマと負イオンビーム引出のモデリング	宮 本 賢 治	586
	6. まとめ	宮 本 賢 治, 吉 田 雅 史, 畑 山 明 聖	592
研究技術ノート	White Rabbit を用いた核融合実験向けサブナノ秒精度タイミング配信の検討	中 西 秀 哉, 伊 藤 康 彦, 前 野 博 也, 大 砂 真 樹	597
令和3年度プラズマ・核融合学会 学会賞選考結果の報告			604
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			606
インフォメーション			607
	幅広いアプローチ活動だより ⁽⁹³⁾ ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 ⁽⁷⁸⁾ 【人事公募】		
本 会 記 事			615
	女子中高生夏の学校2021 (オンライン) への貢献 / プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第25回支部大会		
編 集 後 記			

表紙の絵

(a) TS-6装置を用いたSTプラズマ合体実験で発生する磁気リコネクション前後の磁力線とプラズマアウトフローの概略図, (b) 新規開発したプローブアレイによるイオン流速径方向分布 (青: $Z=2.1$ cm, 赤: $Z=-2.1$ cm) の計測結果とポロイダル磁気面, (c) 新規開発したプローブアレイによるイオン温度径方向分布 (青: $Z=2.1$ cm, 赤: $Z=-2.1$ cm) の計測結果.

(Ryo SOMEYA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 16, 1202078 (2021) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。